

止まり木



令和6年（2024年）

6月3日発行
第9号

大阪市立横堤中学校

ボランティア 4つの原則

6月1日の土曜日にPTA主催の地域清掃を実施しました。今回は2年生が対象でしたが、それ以外の学年の人や部活動の生徒、保護者の方や先生方を含め多くの人が参加してくれました。本当にありがとうございました。今日の全校集会でボランティアについてお話しした内容に補足して紹介します。



今回の清掃はボランティアです。自ら望んできてくれた人や部活動で参加しようと言われてきた人もいたかと思います。絶対にやらなくてはいけない清掃ではないので参加しただけでも「えらいね。」「ありがとう。」と褒められたり感謝されたりします。ボランティアの本来の意味は「**自発的な意志による行動**」を指します。自ら望んでやったことにはいろいろな気づきがあります。この経験が今後の人生で求められる時が来ます。最近、高校入試や就職試験などでも「あなたはボランティア活動を行った経験がありますか。」と問われることがあります。これは、単純にボランティアをやっていたから感心だとかい子だなという評価をしているのではないと思います。ボランティア活動を通じて**今まで見えなかつたことが見えるようになる経験**を多く積んでいることに期待をしているのだと思います。部活動の顧問の先生方が清掃活動にみんなを参加させるのは、そういう経験を積むきっかけを作ってくれているのです。こんな場面が学校にはたくさんあります。そして、いずれは自分の意志でボランティア活動に参加し、何かをつかんでほしいと思います。以下、ボランティア活動の4つの原則を紹介します。

ボランティア活動 4つの原則

自主性、自発性

ボランティアは、誰かに強制されたり、義務で行ったりするものではなく、**自ら進んで行動すること**を意味しています。自分のその活動を「やりたい」という気持ちが何よりも大切になります。

無償性

報酬や賃金を得ることが目的ではないため、ボランティア活動に対する見返りを求めないことが原則です。

社会性、連帯性

一般的に活動の多くが他の人々と一緒にを行うものです。多くの人と交流できる社会性や、それらの人々を尊重し、協力し、ともに支え合う連帯性が必要となります。また行動を通して、それらを前向きに学ぶことが求められます。

先駆性、創造性

従来のやり方や考え方、もしくは自分自身の考えに捉われず、新しいやり方や考え方を受け入れ、広い視野を持って何が必要なのかを考え、実施することも大切です。